

2023 年度 子ども科学教育研究全国大会

1. 開催日 2023 年 12 月 2 日 (土)
2. 開催場所 横浜市立白幡小学校
神奈川県横浜市神奈川区白幡上町 11-1
電話 045(401)4779 FAX 045(431)0239
3. 研究テーマ 自覚的な学びの繰り返しによって日常を科学する子ども
4. 主催 横浜市立白幡小学校
公益財団法人ソニー教育財団
ソニー科学教育研究会
5. 後援 文部科学省
横浜市教育委員会
全国小学校理科研究協議会 日本初等理科教育研究会
6. 参加者 173 名

7. 時程及び内容

8:30~	9:00 ~ 9:25	9:35 ~ 10:20	10:35 ~ 11:20	11:40 ~ 12:25	13:20 ~ 14:10	14:20 ~ 14:25	14:25 ~ 14:55	15:00 ~ 16:15	16:15 ~ 16:30
受付開始	開会行事	公開授業Ⅰ	公開授業Ⅱ	研究協議会	セッション ポスター	講師・来賓紹介	講演会	シンポジウム	閉会行事

8. 開会行事 9:00~9:25 場所:体育館

- 1 開会の言葉 副校長 小野 雅美
- 2 来賓挨拶 ソニー教育財団 理事長 根本 章二 様
横浜市教育委員会 教育長 鯉渕 信也 様
- 3 本校の研究について 研究推進委員長 松永 恵
- 4 本日の時程等について 教務主任 堀口 好文

9. 公開授業Ⅰ

9:35～10:20

教科	年	組	授業者	単元名	活動場所
国語	4	2	吉田 千夏	小学生が主人公の物語を読んで感じた「あるある!」を、友達に紹介しよう!	教室
	4	4	遠藤 恭兵	“七沢調査 DX 隊”の挑戦! ～七沢について調べたことを3年生にプレゼンテーションで伝えよう～	教室
理科	3	1	竹田 幹	じしゃくの力研究所 ～磁石の面白さを生かしたこだわりのおもちゃをつくろう～	教室
	5	1	杉山 菜緒	白幡のヌシを釣り上げろ! ～オリジナルの釣り竿で挑戦～	家庭科室
生活科	1	1	横山 真由	ふやそう!にこにこのみだいさくせん ～じぶんやおうちのひとをにこにこえがおいっぱいにしよう～	教室
体育	3	4	沖田 莉子	パスを繋いでみんながヒーロー!ナイストライ! 3-4 オリジナルラグラグビー大会 ～大量得点目指してチームで作戦を成功させよう～	校庭

10. 公開授業Ⅱ

10:35～11:20

教科	年	組	授業者	単元名	活動場所
国語	1	3	松永 恵	学校としゃかんにあるむかしばなしの本をよんで、おはなしのすきなところをしょうかいしよう	教室
	5	3	猪熊 優介	伝記を読み、自分の生き方について考え、未来の自分にメッセージを送ろう	教室
理科	6	3	桑原 俊	科学で明かす自分の体 ～体内にある水溶液の秘密～	理科室
生活科	2	4	宮城 彩香	あそんでためしてくふうして ～やくめをおえてこのたび〇〇になりましただん～	教室 3階ホール
体育	2	1	伊藤 義道	にじいる跳び箱ランド ～えらんで 見合って とびこえよう!～	体育館
	6	1	宮原美由紀	自分たちのチームの特徴にあった作戦を話し合っ、得点を決めよう ～6年1組フラッグフットボール大会～	校庭

※1年3組の国語は、当日公開中止となりました。

11. 研究協議

11:40～12:25

部会	場所	講師
国語4年部会	4年2組	横浜市立北方小学校 校長 伊藤 洋子 先生
国語4・5年部会	5年2組	北部学校教育事務所ハマアップ 授業改善支援員 永池 啓子 先生
理科3年部会	3年1組	西部学校教育事務所 主任指導主事 片桐 大樹 先生
理科5年部会	家庭科室	国立教育政策研究所 研究開発部 学力調査官 教育課程調査官 川上 真哉 先生
理科6年部会	理科室	横浜市立三保小学校 校長 鈴木 康史 先生
生活科部会	1年1組	横浜市立小机小学校 校長 遠藤 淳子 先生
体育部会	体育館	横浜国立大学教育学部 講師 山崎 信也 先生

研究協議は、授業者からの自評⇒付せんを使用したグループ討議⇒指導講評という形で進行了ました。参会者の皆様からは、今後につながる貴重なご意見をたくさんいただきました。講師の先生方からは、授業について価値づけていただいたり、新たな課題をいただいたりしました。

12. ポスターセッション 13:20～14:10

学校名	発表者	発表題目
福島市立三河台小学校	野口 卓也	自らの問題を科学的に解決するプロセスを愉しむ 子どもの育成
足利市立小俣小学校	田名網 恒介	Omata Science Chain
旭市立千潟中学校	神原 真人	持続可能な探究活動
胎内市立胎内小学校	茂呂 祐亮	科学大好き!胎内っ子プラン! ～自然や人、社会と触れ合いながら、問い続ける子ども～
刈谷市立朝日中学校	渡邊 清寿 畠 遼太郎	朝日未来への学びプラン ～学びを深め、その先へ～
朝倉市立甘木中学校	高野 将吾	生命の尊さを実感する生徒を育てる理科学習指導 ー理科教育と道徳教育を融合させた探究活動を通してー
品川区立豊葉の杜学園	山畑 朗子	生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質能力 ～「校歌」を教材とした教科等横断的な学び～
八王子市立上柚木小学校	佐久間 広	「人間性を豊かにする理科学習」
糸魚川市立大和川小学校	金子 紅里	生活を豊かにする創造力を育む MESH™ を活用した プログラミング学習の開発
三条市立一ノ木戸小学校	河本 康介	知と願いが「つながる」探究的な学習の実現 ー探究心を燃え上がらせるものづくり活動を通してー

教室やホールを使い、ブースを作りました。発表者の皆さんが、参会者の方に分かりやすくまとめてくださったり、実際に学習で活用したりした物を見せていただいて、大変勉強になりました。



13. 講演会 14:25～14:55

テーマ 「アクティブ・ラーニング推進の歴史と現代の課題 ー個別化・最適化と協働化を授業で実現するー」

元京都女子大学発達教育学部教授

元文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官

井上 一郎 先生

これまでの白幡小学校の研究をふまえながら、個別化・最適化と協働化での学習についてお話していただきました。学力調査や ICT の活用など、具体的な事例を基に、これからの授業について考える機会となりました。

14. シンポジウム 15:00~16:15

テーマ 「日常を科学する子ども」

<シンポジスト>

国立教育政策研究所

国立教育政策研究所

横浜市立間門小学校

横浜市立白幡小学校

<コーディネーター>

横浜市立三保小学校

学力調査官 川上 真哉 先生

学力調査官 渡辺 誠 先生

教 諭 松永 陵 先生

教 諭 松永 恵

校 長 鈴木 康史 先生

今回の研究テーマにもある「日常を科学する子ども」とは、どのような子どもを目指すことなのかについて、白幡小学校の今までの研究や、様々な立場からお話しいただきました。具体的な子どもの姿をイメージしつつ、教師はどのようなことができるのかを考える大変有意義な時間になりました。



15. 閉会行事 16:15~16:30

講評 ソニー子ども科学教育プログラム 審査員

来賓挨拶 ソニー科学教育研究会・SSTA

謝辞 横浜市立白幡小学校

千葉大学教授 山下 修一 先生

理事長 吉永 公紀 様

校 長 望月 重晴

4年生【国語】

小学生が主人公の物語を読んで感じた「あるある！」を、
友達に紹介しよう！

本単元では、本を読むことの楽しさを味わい、日頃から読書に親しむ姿を目指しました。そのために、今回は「共感的」に読むということに視点を置いて進めていきました。

本時では、共感したことについて、自分で深めたり友達と交流する中でまとめたりしていきました。本をもう一度読み返して行動や心情の描写について考え直したり、気持ちの変化について心情曲線をもとに比較したりしながら、共感したことについてまとめていく姿が見られました。

講師の伊藤先生から、「どのように学んだことで、考えが変容したり深まったりしたのか子どもたちが自覚できるような振り返りの手立てがあるとよい。」というご指導をいただきました。



1年生【生活科】

ふやそう!にこにこのみだいさくせん
～じぶんや おうちのひとを にこにこえがお いっぱいにしよう～

お家の人の「にこにこ」について考える活動を通して、家庭生活を支えている人のことや、家庭内で自分ができることなどについて考え、自分の役割を積極的に果たそうとする姿を目指しました。

本時では、家庭での常時活動において気付いたことや思ったことを伝え合い、「にこにこ」の分類・整理を行いました。「にこにこ」の種類に自覚的になることで、自分が家の人に笑顔にしてもらっているだけでなく、自分も家の人を笑顔にしていることに気が付く姿が見られました。

講師の遠藤先生からは、ICTが効果的に活用されていたという評価と、「家の人思いにせまれるよう、具体的な言葉で発問をすると、子どもたちの学びがより深まるのではないか。」というご指導をいただきました。



3年生【理科】

じしゃくのか研究所

～磁石の面白さを生かしたこだわりのおもちゃをつくろう～

磁石の性質について調べる活動を通して、問題を見いだしたり、主体的に問題を解決しようとしたりすることを目指しました。本時では磁石の性質を生かしたゲームで遊んだ体験を通して、磁石の性質について、差異点や共通点を基に問題を見だし、子どもたち自身で学習問題を設定しました。体験したことを共有する中で、活発に交流する子どもたちの姿が見られました。

講師の片桐先生からは、「単元のはじめに学習問題をつくるのか、単元が進んでいく中で一つ一つを作っていくかは、単元の展開に合わせて設定するとよい。」とご指導いただきました。



2年生【体育】

にじいろ跳び箱ランド

～えらんで 見合って とびこえよう～

とび箱遊びにおける「踏切」「着手」「着地」の動きを、友達との関わりの中で楽しみながら高めること、またその過程でできるようになったことを自覚し、次の学習に繋げることを目指しました。

本時では、自分が意識して高めたい動きを友達に伝え、互いに見合って学習を進めました。振り返りでは、「見合うことで自分の苦手な動きが分かった。」「友達からのアドバイスに気を付けると、できるようになって嬉しかった。」と、一緒に学ぶことの良さに気が付いていました。

講師の山崎先生からは、「子どもが遊びの中で、楽しく自然に学びの系統性を意識した動きを獲得するための手立て」について評価、ご指導をいただきました。

